



日本のパッケージビジネスが 取り巻く現状に、 僕はとにかく我慢ができなかった。

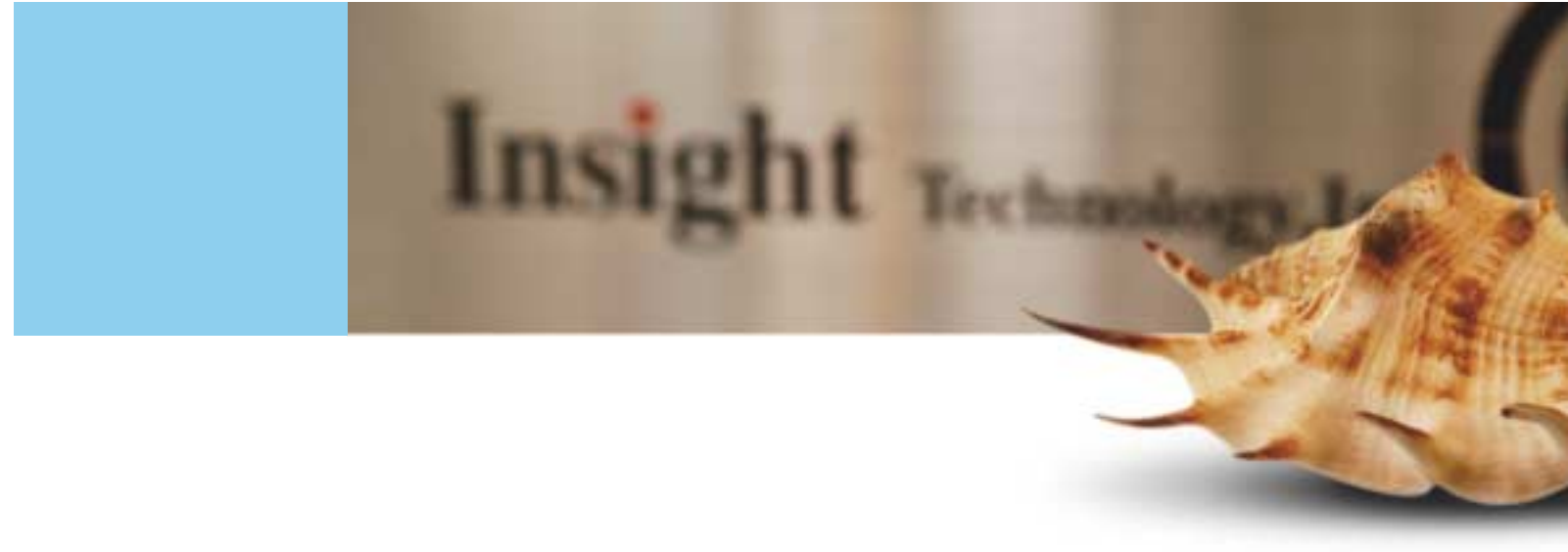
日本でITという言葉が聞かれはじめた10年以上前、僕はオラクルの日本法人立ち上げに奔走していた。時期を同じくして、国内市場では世界中のパッケージソフトが一挙に押し寄せていた。実に数百を超える数々のパッケージに、企業の経営層や代理店の人間たちはこぞって群がった。「海外製覇」「世界市場での実績」という売り文句だけでである。思えばこの頃から、僕のなかにはある想いが芽生えていた。



の技術や製品を紹介することが目的だったのが、いつも「接待」に様変わりしていた。そうした状況はクライアントの意識の低さによるものが圧倒的に多かった。技術の良さや製品を導入することのメリットを真剣に考えている人なんてほとんどいなかった気がする。

「導入すればシステムの課題は解決される」「訪問しただけで最先端に触れた」と思っている。パッケージソフトに情熱を傾けていた僕にとって、一つひとつの製品が持つ本来の能力が発揮されないという事実。さらに、無駄に投資が繰り返され、意味もなく導入し続ける国内市場の事情は、屈辱以外の何ものでもなかった。

パッケージを導入するだけで、システムやネットワーク環境、さらには組織そのものが変わることはまずあり得ない。問題点を根幹とさせている部分まで深く掘り下げていき、抽出した課題や問題について、対策案を考えパッケージに反映していく。これが本来あるべき姿である。これは、提供側となるコンサルタントや開発プログラマが担うべき仕事と



代表取締役社長
小幡一郎

いつ面でも同じだ。内容の浅い検証結果をもとに指示されるがままにプログラムニングを行う。目先の利益を追い掛けるが故に、瞬間的な改善策しか提案できないコンサルティングなんて本来あるべき働き方ではない。コンサルタントもプログラマも一丸となって、「クライアントが本当に目指すべきシステムの在り方」や課題を解決するパッケージを創り、導入していく。これこそが理想のカチである。この想いを実現するために僕たち

が選んだ道が「起業」、そして「自社パッケージの開発」だった。「将来的に世界に進出するパッケージを創ろう」。当時はあまりにも壮大な目標だったが、僕たちに迷いはなかった。むしろ、やりたいことができることへの大きな期待や野望に満ちあふれていた（それはいまでも変わらないのだが）。そして、1995年の七夕の日。インサイトの歴史は、僕と2人の仲間と共に始まった。

1995年七夕。 夢に賭けてみようと決意した。



自社製品の運用・検証によって お客様の課題解決のために最適な方法を提案する コンサルタント、募集。

募集職種	仕事内容	応募資格
セキュリティコンサルタント	<p>自社開発のOracle運用管理ツール「Performance Insight」や、情報漏洩監視システム「PISO」を通じての、脆弱性の抽出、問題解決に向けたコンサルテーション システム解析（機密情報の洗い出しなど） セキュアシステムの提案・設計・構築、運用支援</p> <p>システム、ソフトウェアの脆弱性評価、診断を行います。企業に膨大な損失と信用低下をもたらしかねないセキュリティ問題。セキュアシステムに精通したコンサルタントの豊富なナレッジをもとに、コンサルティングプロセスを効率化し、素早く原因を究明していくなかで、問題を早期解消し、大幅なコストダウンを実現しています。コンサルティング業務だけではなく、自社パッケージの開発も業務の一つ。最近では、シマンテック社と提携し、アプリケーション性能管理ソリューション『SIGN』を共同開発しています。</p>	<p>高専・専門卒以上、年齢35歳位まで。 セキュリティ関連のシステム構築経験者</p> <p>以下の経験をお持ちの方歓迎します。 ISMS認定資格 ネットワークに関する知識</p>
データベースコンサルタント	<p>問題点の抽出、問題解決に向けたコンサルテーション システム解析（問題点の解析&初期チューニング） システム解析（経過分析） DBチューニングの提案、実行 データベース設計・構築の提案、運用支援</p> <p>データベースに精通したコンサルタントの豊富なナレッジをもとに、コンサルティングプロセスを効率化し、素早く原因を究明。問題を早期解消し、大幅なコストダウンを実現していくことがミッションです。最近ではデル社と提携し『データベース クリニックサービス』を共同開発し、新たなサービスラインアップとして展開しています。</p>	<p>高専・専門卒以上、年齢35歳位まで。 データベース設計・運用経験が3～5年くらいある方</p> <p>以下の経験をお持ちの方歓迎します。 論理物理設計経験 ハードウェアコーディネート経験</p>

【ご自身の技術や経験に自信が持てないという方もご安心ください】

当社では、設立以来ポテンシャルを重視した採用を行っています。
業界・業務未経験で入社したメンバーも多く在籍しており、現在では第一線で活躍しています。
また、入社後は当社DB社員とのOJTや研修プログラムも用意していますので、安心して飛び込んで来てください。

【募集要項】

給与 年俸制400万～1200万円 経験、能力を考慮の上で決定します
勤務地 本社：茅ヶ崎/恵比寿オフィス（東京都渋谷区恵比寿245 星ビル8F） 本社茅ヶ崎について クリエイティブな仕事にはやすらぎも必要、と社長小幡がエンジニアのために選んだ場所が茅ヶ崎です。社員の9割が茅ヶ崎に移り住んでいるため（もちろん転居費用支給）通勤は自転車や徒歩。通勤ラッシュなどの余計なストレスから解放され、開発に専念できます。仕事に疲れたら海を眺めたり散歩をしたり。新しいアイデアが生まれることも！ 沖縄事業所も開発・テストセンターとしてオープン予定
勤務時間 フレックスタイム制 標準労働時間9:00～17:00(標準労働時間7時間)
休日休暇 完全週休2日制(土・日) 祝日、年末年始、有給休暇
待遇 交通費全額支給、社会保険完備、茅ヶ崎移住に関する転居費用補助制度、社内旅行(2005年は石垣島)
応募方法 履歴書、職務経歴書を下記E-mailまたは住所宛に郵送にてお送りください 求人情報検索サイト@type (http://type.jp) から応募可能です

【会社概要】

事業内容 Oracleの運用管理ツール「Performance Insight」や、情報漏洩監視システム「PISO」の開発・販売を始め、Oracleのパフォーマンスチューニング、データベース設計から運用まで一貫したコンサルテーションを国内外に提供 【PISO】 監査証跡となるデータベースアクセスの記録、警告、追跡調査を可能にする情報漏洩監視システム。検知した不正アクセスから、わずか2クリックで不正アクセスの詳細確認が可能な点や、大量のアクセスログから疑わしいアクセスの高速追跡・調査を可能にしました。発売わずか1年半で60社、約150ライセンスの導入実績を誇ります
設立 1995年7月7日
資本金 8,985万円
売上高 7億5,000万円(2005年12月実績)
従業員数 50名 平均年齢:33歳
代表者 代表取締役 小幡 一郎



【採用関係連絡先】

株式会社インサイトテクノロジー
〒253-0041 神奈川県茅ヶ崎市茅ヶ崎2-1-52 6F 採用担当 高橋
TEL 0467-59-1527 E-mail hr@insight-tec.co.jp
http://www.insight-tec.com/



日本発のパッケージを携え
いよいよ世界へ。準備は整った。
いま勝負の時を迎える。

オラクルでパッケージ開発に携わっていた経験を通じて感じたこと。それは、日本でもクオリティの高いパッケージは作れるということだった。「輸入率100%という現状を打破したい」「クライアントのニーズに本当にマッチしたパッケージを創りたい」。国内市場の現状を目の当たりにしていた僕は、いつもそんなことを考えていた。また、「マインドオーバーオラクル」というパッケージを独自に開発した経験も、起業へと後押しした要因の一つだった。

僕自身、エンジニア出身だからだろ。目先の利益よりも、クライアントの問題を根底から改善するパッケージの開発にこだわっている。世の中にEIPが到来した当時は、僕らもビジネスを横展開した。代理店の協力を仰ぎ、販路を拡大した時期もあった。しかし、インサイトのパッケージビジネスの根っこでは、コンサルタントがクライアントと共に課題を抽出し、問題点を克服すべく自社でパッケージを開発し、導入からその先のフォローも自前で進めるスタイルにこだわり続けてきた。

また、一人ひとりがポテンシャルを如何なく発揮できる環境を考え、海や山など自然に囲まれた「茅ヶ崎」に本社機能と開発拠点を設け、コンサルタントの拠点として開設した恵比寿オフィスでは、ウッドデッキの

テラス、ロングボードをはじめ「海をテーマとしたオフィス」を構えた。全てはクライアントのため、そして自分たちが本当に創りたいパッケージを開発し提供するためだ。

こうしたこだわりは、今日着実に実を結んでいると確信している。インサイトの船出と共に誕生した『Performance Insight』は発売開始以来、4000ライセンス超の出荷実績を誇り、情報漏洩監視システム『PISO』は、これまで数多くの企業情報管理をサポート。情報資産を管理するデータベースセキュリティという側面から、ここ最近急速にニーズが高まっている「内部統制システム」で数々の導入実績を築いている。その他にも、データベースのオラクルサーバーやPCのデル。セキュリティのシマンテックといったグローバル企業各社と提携し、パッケージ導入のさらに先を見据えたサービスもスタートした。11年前の七夕の日に掲げた「日本発のパッケージで世界を相手に勝負する」という僕たちの野望は、いよいよ現実味を帯びてきた。いや、僕のなかでは、いま必ず実現できるという「確信」に変わっている。

製品も技術もコンサルティングもサービスも全て自分たちの力で勝負できる環境が整った。僕はいま、この組織と仲間たちのその先を考えているだけでワクワクしている。

11年の歳月を経て、夢物語は正夢になる。

